

令和２年度 鹿児島県広報コンクール

①市町村 ②作品名 ③収録時間 ④担当課

■映像部門

〈 特 選 〉



- ① 鹿児島市
- ② まってるし鹿児島市
- ③ 4分24秒
- ④ 鹿児島市 観光プロモーション課

○講評

〔企画〕

- ・キャッチーな踊りと音楽、多くの市民が生き生きと出演していて実際に行ってみたくなる場所だと感じさせる。見終わったときに爽快感を感じた。
- ・ダンスを通じて明るく元気が伝わる内容であるが、前回のイメージが強くオリジナリティは低い。

〔表現・構成〕

- ・いろいろな世代、職業の人たちがダンスでつながり、温かみを感じつつ、新体操部員のコミカルさが加わり、単調にならず変化が出ている。
- ・多くの市民が出演しそれぞれが楽しく飽きさせない構成に工夫されていた。最後が少し長く感じたか。

〔視覚的効果〕

- ・冒頭部分の部員の入り方や効果音、アップテンポの曲調にあった編集で惹きつける。映像のスケールもメリハリがあり、見る人を飽きさせない。
- ・映像の豊富さやCGなどで飽きさせない工夫があった。ここまで壮大ならドローンなどカメラでも分かりやすいスケール感があってもよかった。

令和２年度 鹿児島県広報コンクール

①市町村 ②作品名 ③収録時間 ④担当課

〈 入 選 〉



- ① 伊佐市
- ② 伊佐の祓い屋三姉妹
- ③ 21分33秒
- ④ 伊佐市 伊佐PR課

○講評

〔企画〕

- ・ 不思議な世界観でドラマ自体は引き込まれるように見ることができた。なぜテーマが除霊なのか、伊佐市と除霊の関係が明確にあれば、より入りやすかったかもしれない。
- ・ 公募小説からのドラマ化で静かに伊佐市の魅力を伝えるが、祓い屋という霊的なテーマがやや難解で、PRとしては長めの時間が視聴者を選ぶことになっている。

〔表現・構成〕

- ・ 伊佐市に引っ越してきた3姉妹が地元の人たちとの交流を通して少しずつ伊佐市に馴染んでいき、心を開く様子が描かれている。最後の「好きになったかも」が作品の意図を間接的に伝える巧みな構成が光る。
- ・ それぞれのストーリーの落ちが効果的で、姉妹が除霊の中で成長していく様子がわかった。

〔視覚的効果〕

- ・ 全体を通して映画トーンで統一され、カメラワークやアングルなどの撮影技術とカット割りなどの練られた編集が光る。
- ・ ドローン、高台からの広い映像をもっと盛り込んだ方が、曾木の滝や田園など伊佐市の壮大で美しい風景を描くことができたのではないかな。